

会議の開催結果について

- 1 会議名 第3回上尾市上平地区複合施設検討委員会
- 2 会議日時 令和2年11月26日(木)
午後6時15分から午後7時50分
- 3 開催場所 上尾市役所行政棟3階 庁議室
- 4 会議の議題 ①上平地区複合施設の進捗状況について
②基本構想(案)【複合施設(案)・付加機能(案)】
の検討について
③今後のスケジュールについて
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴者数 5名
- 8 問い合わせ先(担当課) 行政経営部施設課(775-5115)

会 議 録

| | | |
|---|---|----------------|
| 会議の名称 | 第3回上尾市上平地区複合施設検討委員会 | |
| 開催日時 | 令和2年11月26日(木) 午後6時15分から午後7時50分 | |
| 開催場所 | 上尾市役所行政棟3階 庁議室 | |
| 議長(委員長・会長)氏名 | 佐藤徹 | |
| 出席者(委員)氏名 | 佐藤徹、志村秀明、深堀清隆、高橋正一、小川厚則、鈴木玲子、岡村博憲 | |
| 欠席者(委員)氏名 | 金野千恵、山下三佐子、古沢輝 | |
| 事務局(庶務担当) | 教育総務部図書館 島田栄一館長、山内正博主幹 行政・経営部 小田川史明部長、松澤義章次長 行政経営部施設課 中釜勝己課長、松野雄司主幹、岸崇史主査、 松尾勇樹主査、佐藤泰彦主任、石塚由香里主任、 鈴木崇之主事、池田誠宏主査(文責) | |
| 会議事項 | 1 議 題 | 2 会議結果 |
| | ①上平地区複合施設の進捗状況について ②基本構想(案)【複合施設(案)・付加機能(案)】 の検討について ③今後のスケジュールについて | 承認 承認 承認 |
| 議事の経過 | 別紙のとおり | 傍聴者数 5名 |
| 会議資料 | (1)次第 (2)上尾市上平地区複合施設検討委員会 委員名簿 (3)資料1 上平地区複合施設の進捗状況について (4)資料2 上平地区複合施設基本構想(案) (5)資料3 上平地区複合施設(案)比較検討一覧 (6)資料4 上尾市上平地区複合施設検討委員会 基本構想策定スケジュール(案) (7)参考 (仮)上尾市中央図書館基本設計 | |
| 議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和2年12月16日 | | |
| 議長(委員長・会長)の署名 | | <u>佐藤 徹</u> |
| 議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ) | | _____ |

議事の経過

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-------------------------|---|
| <p>佐藤委員長</p> <p>事務局</p> | <p>開会（午後6時15分）</p> <p>議題①「上平地区複合施設の進捗状況について」、事務局からの説明を求める。</p> <p>資料1により、上平地区複合施設の進捗状況を説明。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>○市民アンケート調査[令和元年5月10日（金）～24日（金）実施] ・対象：18歳以上の市民3,000人（無作為抽出） ・有効回答数：901票（30.0%）</p> <p>○第1回検討委員会[令和元年7月19日（金）開催] ・議題 ①検討委員会の概要と今後のスケジュールについて ②市民アンケートの結果について ③市民ワークショップの開催について</p> <p>○第1回市民ワークショップ[令和元年12月21日（土）開催] ・出席者：51名 ・テーマ：施設を複合化する際に、どのような魅力的な施設（サービス）があると良いのかを考えよう</p> <p>○第2回市民ワークショップ[令和2年1月11日（土）開催] ・出席者：49名 ・テーマ：どうすれば複合施設の魅力をさらに高めることができるのかを考えよう</p> <p>○第2回検討委員会[令和2年2月10日（月）開催] ・議題 ①市民ワークショップの結果について ②複合施設（案）・付加機能（案）の検討について ③今後のスケジュールについて</p> <p>【質疑・意見】 特になし</p> |
| <p>佐藤委員長</p> <p>事務局</p> | <p>次に議題②「基本構想（案）【複合施設（案）・付加機能（案）】の検討について」、事務局からの説明を求める。</p> <p>説明が長くなるので、①上平地区複合施設の候補の絞り込み結果についてと、②上平地区複合施設の詳細についての2点に分けて説明し、それぞれ審議していただきたい。はじめに、資料2により、上平地区複合</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|------|--|
| 事務局 | <p>施設の対象施設の絞り込み結果を説明。</p> <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート調査や市民ワークショップの結果、市民意見として「居心地の良い施設」「さまざまな世代が活用できる施設」「安心・安全な施設」を望む声が多かった。 ・公共施設マネジメントの観点から13の候補施設について絞り込みを行なった結果、上平支所、上平防犯連絡所、上平公民館図書室の3施設が候補として残った。 ・検討結果を踏まえ、市民から出されたさまざまな意見を最大限実現するためには、用途を限定せずに目的に合わせて形を変えられることができない多用途・多機能な広い空間（以下、「バリエブルスペース」という。）及び、防災機能として災害時にはボランティアセンターとして活用できる機能を補完しながら、上平支所と上平公民館図書室を複合化した施設を上平地区複合施設とする。 |
| 小川委員 | <p>【質疑・意見】</p> <p>はじめにお礼を言いたい。昨年度に本検討委員会がスタートしたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により検討委員会が開催されず、検討が中断していた。さらに、建設予定地は多目的広場として整備され、市民の方がグラウンドゴルフなどで活用している状況である。そのため、このまま多目的広場として使用され続け、複合施設の建設は出来ないのではないかと不安であったが、複合施設の案を提示していただいたので地元の一員として感謝したい。複合施設の案は現実的であると考えている。上平公民館は会議室が半円形であるため、自治会活動には非常に使い勝手が悪い施設である。公民館としてのサークル活動はできるが、自治会の会議や研修には向いていない。上平公民館図書室は間取りが長方形なので、移転した場合にはその場所を会議室や研修室として整備すれば、公民館の使い勝手が向上する。施設の機能が向上することにより利用効率が上がるので、自治会にとっても市民にとっても喜ばれる施設になると思う。この案に賛成である。</p> |
| 鈴木委員 | <p>青少年センターと少年愛護センターは令和42（2042）年度まで現在の施設を使用するとこのことだが、それ以降の移転場所は決まっているのか。</p> |
| 事務局 | <p>現時点では具体的な移転先は決まっていない。</p> |
| 鈴木委員 | <p>上平地区の方にとっては良い施設だと思う。しかし、候補として絞られた施設は上平地区の施設のみである。上平地区のことを第一に考</p> |

| 発 言 者 | 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|--------|---|
| 鈴木委員 | える必要はあるが、前提条件には市全体の施設とすると定めているので、この複合施設がどのように市全体の施設として使われるのか。 |
| 佐藤委員長 | 複合施設の詳細については、後ほど事務局から説明があるという認識で良いか。 |
| 事務局 | 後ほど複合施設の詳細について説明させていただく。 |
| 高橋副委員長 | 防災機能を補完するとあるが、これはボランティアセンターだけをイメージしているのか。 |
| 事務局 | 現時点では、ボランティアセンターの使用のみを考えている。どの程度の防災機能を盛り込むことが可能なのか担当部署と協議したが、市庁舎を防災拠点として活用しており、上平地区複合施設を防災拠点として活用することは難しいという回答だった。そのため、災害時にボランティア活動に来た人たちを受け入れる施設として活用することを提案したところである。 |
| 高橋副委員長 | 上平地区複合施設を避難所として活用する考えはないのか。 |
| 事務局 | 避難所に指定されるのかについては、今後担当部署が検討する予定である。昨年の台風19号の際にボランティアに来た人たちの集合場所がうまく確保できなかったことを教訓に、当面はボランティアセンターとして活用する考えである。また、隣の上平球場には災害時の備蓄品が多くあるので、備蓄品の配布場所として活用したり、北上尾駅での帰宅困難者を受け入れたりするなど、さまざまな活用方法を検討していく予定である。 |
| 志村委員 | 2点質問がある。1点目は、絞り込みにより上平支所と上平公民館図書室を候補としたことは理解したが、市民ワークショップでは交流を促進するような施設を望む意見が出されている。上平地区複合施設には、支所や図書室以外の機能を付帯施設として組み込むことが認められるのか。2点目は、延床面積が約2,000㎡とあるが、どのような目安で決定したものなのか。 |
| 事務局 | 1点目について、詳細は後ほど説明するが、上平地区複合施設は上平支所と上平公民館図書室以外の市民サービスについても、市民意見を踏まえて提供する予定である。 |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-------|---|
| 事務局 | <p>2点目について、誤解を与える表現であったことをお詫びする。延床面積は、ゾーニングの結果から試算したものである。後ほど説明するが、さまざまな交流を促進するスペースを組み込むことを前提にゾーニングを行い、これらの市民サービスを提供するためには2,000㎡程度の広さで実現可能であるという考えに至った。また、広い空間を確保するためには、構造を鉄骨造か鉄骨鉄筋コンクリート造にすることが良いのではないかという考えをまとめた素案である。面積の表現については、後ほど修正させていただく。</p> |
| 深堀委員 | <p>今回複合化する施設が減ってしまった中で、複合化による相乗効果を補完するようなアイデアは他になかったのか。上平地区だけでなく市全体の施設とするために、何を実施して相乗効果を高めていくのかを考える必要がある。もう一つの視点として、前回の検討から社会情勢の変化が挙げられる。防災の考え方の他に感染症の問題もあるので、施設の中でどのようにボランティアセンターを活用し、相乗効果を得るのかを議論しないとイケない。今後の検討でどこまで議論できるのか心配である。また、ボランティアセンターを非常時のみ活用するとのことだが、実際に災害が起きた時に機能しない恐れがある。例えばボランティアの方が災害について学ぶ場を提供するなど、防災的な観点をコンセプトに取り入れる必要があると考える。平常時と非常時のつながりを考えた防災機能を示すべきである。また、資料2の3ページにおいて、公共施設マネジメントに沿った複合施設の考え方として省スペース化の推進を示しているが、上平地区複合施設のコンセプトに合わないように感じる。基本構想の中でロジックを整理する必要がある。</p> |
| 佐藤委員長 | <p>非常に多岐に渡るご意見やアイデアをいただいた。特にバリアブルスペースが支所や図書室という機能とどのような相乗効果をもたらすのかについて、事務局はどのように考えているのか。</p> |
| 事務局 | <p>相乗効果については、市民アンケートや市民ワークショップでいただいたご意見を可能な限り叶えるために、災害の際に活用するスペースを平常時にいかに活用するのかを考え、使用する時間帯や曜日、用途によって区切ることにより省スペース化を図っていくというのが3ページの考え方である。次に防災の考え方だが、例えば、ここに市役所に設置している防災本部を設置することは、すぐには難しいという話である。防災活動や防災訓練などを実施するということが可能であると思われるので、ソフト面での運用方法については、令和3年度以降に決定していく予定である。</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-------|---|
| 佐藤委員長 | <p>今回の複合施設は、公共施設マネジメントの考えが市民意見や検討委員会での意見に比べて弱い。公共施設マネジメントの考え方をどのように評価するのか、事務局でもう一度検討していただきたい。</p> <p>保育所のニーズと関連する話になるが、前回の検討委員会の中でシラコバト団地の話が出ており、当時の説明では埼玉県がシラコバト団地に若い世代を呼び込む方針を出した場合には、保育所を継続する可能性もあるという内容だったと記憶している。今回、対象施設から外れたとのことで前回からの説明と内容が変わっているので、最新の動向を説明していただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>現在、県からシラコバト団地について公表されている内容は、団地のリニューアルを考えているということである。比較的北上尾駅からの距離が近いので、可能であれば再整備するという話も聞いている。現在の入居状況は約4割であり、既存の団地をどのように残すのか、若い世代をターゲットにするのかについて、今年度から検討を開始する予定で聞いていたが、新型コロナウイルスの影響でその後の状況は市に伝わっていない。</p> |
| 岡村委員 | <p>しらこぼと保育所と上平保育所は対象施設から外れるとのことだが、対象施設から外して問題ないのか。民間保育園の開園により保育需要が充足されるというが、民間保育所が閉園することを考慮しているのか。私は原市地区に住んでいるが、保育所を申し込んだ際に受け入れ可能だった保育所は上平保育所とあたご保育所だった。送迎が大変だったので、市の中心に保育所があれば良いと感じた。上平保育所が今回候補から外れても、今後の受け入れに問題が生じることはないのか。シラコバト団地に若い世代が増えた場合に対応可能なのか。また、今回の複合施設は災害や人口増加など予測できない事態に対して、どこまで余裕を持って対応できるのか。</p> <p>また、複合化により総面積削減に努めるという話があったが、自宅近くにある尾山台出張所は、施設の老朽化が進んでおり、会議室も机を動かすのが難しい位狭い施設である。老朽化した施設については、目標耐用年数まで使用することを前提に施設を維持するのか。</p> |
| 事務局 | <p>保育の需要について、上尾市の待機児童は15名まで減っている。今後の児童数の推計を鑑み、各地区の保育需要を検証した上で市全体の公立保育所を令和37年度までに7園程度にするという目標で公立保育所の再編を進めている。結論に時間がかかってしまったが、子ども未来部で検証した上で上平地区複合施設の候補から外し、上平保育所で保育を継続するという回答をいただいた。</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-------|--|
| 事務局 | <p>また、複合施設の余力については、上平地区複合施設は見直しとなった新図書館複合施設の半分程度の敷地で建設が可能である。残りの半分の敷地については、拡張性を残す形になる。今後、市として補完すべき施設が出た場合には、その余力を使って更新することが可能であると考えている。</p> |
| 岡村委員 | <p>見直しとなった新図書館施設複合施設の敷地面積と、今回の上平地区複合施設の敷地面積は異なるのか。</p> |
| 事務局 | <p>敷地面積は約7, 200㎡で変わらない。敷地をどこまで活用するのかという話である。コロナ禍において建築行為を進めるには、可能な限り財政をひっ迫しないような形で行政サービスの向上を目指す必要がある。その中で必要な敷地面積を試算したものである。</p> |
| 岡村委員 | <p>今回、建物を建てない部分の敷地については、引き続き市が所有するということが良いのか。</p> |
| 事務局 | <p>その通りである。</p> |
| 佐藤委員長 | <p>それでは、続けて施設の詳細について事務局からの説明を求める。</p> |
| 事務局 | <p>資料2、資料3、参考資料により上平地区複合施設の詳細について説明。</p> <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造：鉄骨造または鉄骨鉄筋コンクリート造 ・階層：地上3階建 ・建物の建築面積：約900㎡ ・建物の延床面積：約2,000㎡ ・施設全体での賑わいの創出に加え、各階ごとに用途にあわせて特色を持たせた施設とする。 <ul style="list-style-type: none"> ○1階：交流ゾーン (多目的ホールを設置し、市民が少人数で自由に活用しながら交流を図る空間) ○2階：情報・学習ゾーン (学習スペースや屋外での読書スペースを設置し、本に親しみながら学ぶことができる空間) ○3階：市民活動ゾーン (可動間仕切りを設けたワークルームを設置し、大人数での会議やコミュニティ活動ができる空間) |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|------|---|
| 鈴木委員 | <p>・敷地は上平広場（多目的広場）を継続利用する。</p> <p>【質疑・意見】</p> <p>キッズゾーンはどのように使われることを想定しているのか。市内では市民体育館や発達支援相談センターなどに設置されているが、おもちゃが置いてあり自由に遊べる空間になっている。上平地区複合施設に設置するキッズゾーンは、そのようなイメージなのか。</p> |
| 事務局 | <p>現在の内容はイメージなので、運用方法などの詳細については令和3年度以降に決定していく予定である。キッズゾーンを設置した理由は、小さなお子様連れの方に施設を利用していただいた際に、子どもを遊ばせながらコミュニケーションを図るためである。要望のあったものを可能な限り実現し、多くの方にご利用いただくために提案したものである。</p> |
| 鈴木委員 | <p>どのように運営するのか決めておいた方がよい。発達支援相談センターのおもちゃ広場は、常駐している職員がいないので利用者が少なく、閑散としている。場所があるだけでは交流の実現は難しい。交流を促すように声かけする必要があるのではないかと。親が机で交流している間、キッズスペースで遊ばせている子どもの安全を誰が確認するのか。場所を提供するだけではうまくいかないと考える。</p> |
| 深堀委員 | <p>現在はゾーニングで示しているの具体的な説明は難しいと思うが、コンセプトにもう少し工夫が必要ではないのか。例えば、軽飲食という表現だけではアンケートで出された居心地の良い空間が伝わらない。自動販売機を設置すれば軽飲食スペースになるのか。共有スペースのあり方については、レイアウトで具体的に示すのは難しいにしても、長くいてもらうために楽しめるスペースをどのように供給する予定なのかを、コンセプトとして示す必要があると考える。また、オープンスペースに学生向けの学習スペースを設置するとあるが、現在はテレワークの推進もあるので情報通信環境を整備することで大人が居心地よく仕事できるスペースにするなど、今の情勢にあわせた表現にすべきである。居心地の良さについても、もう少しサービス機能を示さないとコンセプトが弱いと感じた。各階にテーマを持たせることは良いが、もう少し踏み込んだ内容を示した方がよい。3階の可動間仕切りも、どの部分が動くのかわかりづらい。例えば、会議室をオープンにすることで、利用者同士にどのような交流が生まれるのかなどの図解があるとイメージしやすい。図書スペースも外とのつながりが薄く感じる。また、吹き抜けは開かれた空間でさまざまな活動をしていることが見渡せることに意義があるので、交流する人たちが吹き抜けを活用することができないのであれ</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-------|--|
| 深堀委員 | <p>ば、スペースの無駄になってしまう。有効に空間を活用するためには丸い空間は使いづらいという説明だったが、レイアウトでは丸い空間を作っている。有効に空間を活用するということが具体的に示されていないので、言葉で表現してほしい。</p> |
| 佐藤委員長 | <p>非常に多岐に渡るご意見をいただいた。コンセプトについては、次のステップで議論するのか、それとも本日ある程度議論しておいた方が良いのか。</p> |
| 事務局 | <p>今年度中の基本構想策定を目指しているので、この場で可能な限りご意見をいただき、次回の検討委員会に反映できるようにしたいと考えている。</p> |
| 志村委員 | <p>バリアブルスペースやキッズスペースについて意見が出ていたが、もう少しイメージをしっかりとさせていかないと利用が弱い施設になってしまう心配がある。ワークショップ後に新型コロナウイルスが流行し、情勢が変化している。本検討委員会では、時代の変化も読み取り、施設に盛り込んでいかないと良い施設が出来ないのではないかと。コロナ禍により人々のライフスタイルも変化し、通勤・通学せずに上尾市に留まる市民が増えている。建設予定地が市街化調整区域であることを逆手に取り、敷地の条件を上手く活用できないか。自然を生かし散歩コースを作ったり、近くの上平公園と連携してスポーツを楽しんだりできると良い。例えば、「はたけのほんや」という取り組みに研究で関わっているが、市民農園とNPO団体が協働して運営している。畑で農作物や自然に触れあいながら、本を読んで勉強できる取り組みである。今の状況を踏まえて、イメージを膨らませていった方が良いと考える。</p> <p>また、延床面積が約2,000㎡であることは良いと思うが、見直しとなった新図書館複合施設が2階建てであったのに、3階建てであることに違和感を覚える。どうせなら、2階建てに抑えた方がコスト削減につながるし、利便性も向上する。3階建てでは周辺環境との親和性も弱くなるので、利用のしやすさやコストのことを考え、敷地面積のことも考えながら、とはいえ我慢するのではなく、今の時代性を捉えた、環境をうまく使えるような施設にするためにも2階建ての方が良いのではないかと。</p> |
| 事務局 | <p>現在は検討委員会と事務局、一部の関係部署のみで検討を行なっているので、まだ他の部署と具体的にどんなサービスが提供できるかというところまで詰め切れていない。そのため今回は、施設の規模と、多くの方が自由に使えるレイアウト変更が容易であるというコンセプトをお示</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|------|---|
| 事務局 | <p>ししたところである。コンセプトについては、今後関係部署との調整によるが、現在、上平地区複合施設の核となる施設は上平支所と上平公民図書室となっている。2つの施設を所管する部署以外からの、例えば農政関係の部署が軽トラック市を開催したり、防災関係の部署が防災訓練を実施したりするなどのアイデアは出ているが、基本構想にお示しする状況まで詰め切れていない状況である。今回いただいたご意見を参考に、次回の検討委員会ではよりわかりやすいコンセプトを入れたいと考えている。</p> |
| 鈴木委員 | <p>資料2の10ページにおいて、「子育て相談等で活用」とあるが、どのようなものなのか。</p> |
| 事務局 | <p>上平地区複合施設で可能であろうサービスとして示している。市では、あげお版ネウボラなどを始めているので、そのようなサービスが上平地区複合施設で実施可能であるのか、詳細については今後検討していく予定である。</p> |
| 鈴木委員 | <p>その日だけ職員が来て相談を受けるというイメージなのか。</p> |
| 事務局 | <p>相談方法を含め、まだ検討中である。</p> |
| 鈴木委員 | <p>余った敷地を上平広場として継続利用することだが、上平広場として活用する部分は敷地の大半を占めるのではないか。また、主に高齢者がグラウンドゴルフで活用されることが多いが、上平地区複合施設は運動をした人たちの休憩所としても活用されるイメージである。さまざまな世代が交流する事が望まれる中で、キッズスペースや子育て相談できるスペースを設けるだけで、子育て世代が交流する場となるのか心配である。13施設の候補にとらわれず複合化する施設を検討した方が良い。赤ちゃんが生まれることを皆で喜べるまちになってほしいので、コンセプトの中に赤ちゃんを皆で大事に思うようなことを含めて欲しい。自分の趣味のためだけでなく、他者を思いやることの大切さを伝えてほしい。</p> |
| 深堀委員 | <p>居心地については、防災に関しても考慮してほしい。ボランティアセンターとしてボランティアの受付などを行うのであれば、作業を終えた方がシャワーを浴びる事ができるというように平常時も災害時もどちらも快適に過ごすことができるという形を示す必要がある。トイレに充実したパウダールームを設置するなど、費用面を考慮した上で居心地の良い空間を創出すべきである。オープンスペースがあれば良いというもの</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-------|---|
| 深堀委員 | <p>ではなく、特化した機能はなくても、品質を高め基本的な機能を充実させることで居心地を高めるというコンセプトがあれば良いと考える。先ほど農業の話が出たが、例えば飲食スペースでこの施設を活用する人たちが周辺の畑で野菜を取り、調理して食べることができるというあり方も交流の一環になると考える。食べるとかトイレに行くなど、人間の基本機能を快適にすることが居心地につながるので、そのような部分もコンセプトに組み込めると良いと思った。</p> |
| 事務局 | <p>今回お示ししたイメージ図から一步進んだ内容についても事務局で検討を進めている。ボランティアセンターとして活用するためには、シャワーや着替えのためのスペースが必要であると認識しているが、現時点ではゾーニングから外している。バリアブルスペースを提供するという事は、その中で行うサービスをいかに充実させるかで決まるので、今年度は箱としての規模と内容を定め、令和3年度にさまざまな部署と検討を進めながら、基本設計という形で取りまとめていきたいと考えている。また、鈴木委員からご指摘いただいたが、「余った土地」という表現は適切でないので、修正させていただく。また「非常時はボランティアセンターに転用可能」という表現を「非常時はボランティアセンターの駐車場に転用可能」という表現に修正させていただく。</p> |
| 小川委員 | <p>今回のイメージ図には緑地が入っていない。2階には屋上緑化とあるが、敷地の緑化をどのように考えているのか。市街化調整区域に建設される施設なので、この施設だけ緑地がないことに違和感を覚える。グラウンドゴルフの利用者は木陰が全くない中で活動している。快適に利用するためにも緑地の部分は必要であると考えるので、屋上よりも敷地に緑地を充実させてほしい。</p> |
| 事務局 | <p>市街化調整区域の場合、開発行為の基準から建ぺい率の2分の1である25%の緑地が必要になる。緑地は1階のイベント広場や道路に面した敷地境界に多く配置されることになると思われる。あえてゾーニングから除いているのは、広場として最大限活用するためにどこに植栽を配置すれば良いか検討中であったためである。また、3階建てにし、屋上緑化としたのは、敷地を広く設けるためであるが、検討途中の案である。</p> |
| 佐藤委員長 | <p>屋上緑化以外の緑地がない訳ではないという認識で良いか。</p> |
| 事務局 | <p>その通りである。</p> |
| 佐藤委員長 | <p>イメージ図の中で示されているサービスが、今後検討が進む中で出来</p> |

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-------|--|
| 佐藤委員長 | なくなるようなことがあるのか。 |
| 事務局 | <p>現在、示していないサービスも行えるように考えていく予定である。ただオープン時にそれがどういうものになるのかというのは不確定であるが、先ほどからコンセプトとして明確にすべきだというご意見があることをしっかりと受け止めさせていただく。現在示しているサービスは、見直しとなった新図書館複合施設の中で検討された内容を反映したものであるので実現可能性は高い。今回のサービスは、図書館からの意見を取り入れているので、詳細については図書館から説明させていただく。</p> |
| 図書館 | <p>図書館では、新図書館複合施設の計画見直しに伴い、新たなあり方の検討について、前回の検討委員会でお示したところである。検討委員会や市民ワークショップ等でさまざまなご意見が出てきたが、あり方についても気軽、身近、居心地の良い図書館ということで、必要なものは導入しながら、学びと活動の支援ができるようなサードプレイスとして全ての利用者にとって居心地の良い図書館を目指すという内容になっている。具体的には財源の関係もあり何でも可能という訳ではないが、ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) を含め導入したいと考えている。複合施設の相乗効果については、1階の交流ゾーンで示した連携は図書館で必ず行なっていることである。2階については、若者たちにターゲットを絞って人を呼び込む施設として考えている。本館では専用の学習席がないため学習席を設置する要望がある中で、新しい施設でどのように実現していくのかという課題はあるが、さまざまな面で相乗効果が生まれることを期待している状況である。</p> |
| 佐藤委員長 | <p>本日は多岐に渡るご意見をいただいた。提案された内容については概ね了解であるが、コンセプトがやや弱い。どのような人がどのように使うのか、色々なバリエーションがある中で明確に見えてこない等の課題が見つかった。この案を土台としながら基本構想として具体化していくことになるので、皆さんのご意見を踏まえつつ、コンセプトをより良いものへとするために具体的に検討を深めていきたい。今回は、この案で検討を進めることを検討委員会として承認することによろしいか。</p> |
| 委員一同 | 異議なし。 |
| 佐藤委員長 | この案をもとに今後も検討を進めることを検討委員会として承認する。 |
| 佐藤委員長 | 続いて、議題③「今後のスケジュールについて」、事務局からの説明を |

| 発 言 者 | 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|---|
| 佐藤委員長 | 求める。 |
| 事務局 | <p>資料4により、今後のスケジュールを説明。</p> <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年12月1日（火）から28日（月）まで、基本構想（案）についてパブリックコメントを実施し、市民意見の抽出を行なう。 ・第4回検討委員会を、令和3年1月下旬に開催予定。 ・次回は、第3回検討委員会の検討内容やパブリックコメントでの市民意見を基に、事務局より基本構想の最終案を提示する。 ・基本構想の最終案について審議し、基本構想の策定を目指す。 ・基本構想に基づき、市議会令和3年3月定例会に報告する。 <p>【質疑・意見】</p> |
| 佐藤委員長 | パブリックコメントの参考資料になると思うので、本日の会議録は早急に公開していただきたい。 |
| 事務局 | 早急に会議録を公開できるよう、作業を進めさせていただく。 |
| 佐藤委員長 | 続いて、議題④「その他」について、事務局からの説明を求める。 |
| 事務局 | <p>本検討委員会の会議結果は、会議録を作成し公開することを説明。</p> <p>また、第4回検討委員会の開催は、令和3年1月下旬を予定している。追って日程調整することを説明。</p> <p>閉会（午後7時50分）</p> |